

『宇宙戦艦ヤマト』放送50周年企画 10月6日(日) 記念上映会の詳細決定！ ポスター解禁 & コメント到着！ 幻の8mmフィルム版が劇場初公開！

「50年後の現在を生きる人々の心に『ヤマト』の凄さや面白さを
遺す上映イベントになれば、と思っています」庵野秀明

テレビ放送50周年を記念する特別企画が始動した『宇宙戦艦ヤマト』。新宿ピカデリーにて開催し全国の映画館にライブビューイングする庵野秀明企画・プロデュースによる一夜限りのスペシャル上映イベント「『宇宙戦艦ヤマト』放送50周年記念上映会」の上映内容が決定し、併せてポスタービジュアルとチケットの発売情報も解禁いたしました。

上映作品1本目は、TVシリーズ第1話「SOS地球!! 甦れ宇宙戦艦ヤマト」を1974年10月6日19時30分のテレビ放送開始から、ちょうど50年の2024年同日同時刻に上映開始！
続いて、幻の8mmフィルム版『宇宙戦艦ヤマト』全3部作を一挙上映致します。
8mmフィルム版はTVシリーズの再編集版という点では1977年公開の『宇宙戦艦ヤマト 劇場版』と同様ですが、その編集は劇場版とは異なり、新規ナレーションも使用した、知る人ぞ知る「ヤマト」です。いわば幻の作品を今回初めて劇場で公開いたします！

上映後には、アニバーサリーデーにふさわしいスペシャルトークイベントも開催！庵野秀明氏が司会を務め、『宇宙戦艦ヤマト 2199』総監督の出渕 裕氏、アニメ・特撮研究家の氷川竜介氏をゲストに迎え、この日限りのスペシャルトークイベントを実施いたします。当上映イベントは全国の映画館にもライブビューイングでお届けいたします。
1日限りのスペシャルな上映会に集結せよ！！

この機会に本上映イベントを
ご紹介くださいますよう、ご検討の程、
よろしくお願い申し上げます。

★ダウンロード可能宣材URL
<https://x.gd/YFdeQ>



放送50周年記念上映会 登壇者コメント

日本の「アニメ」は、50年前の1974年10月6日から始まりました。

時に西暦1974年。半世紀も前に製作された『宇宙戦艦ヤマト』というテレビ漫画の出現が、如何に当時の自分たちに衝撃を与え、後に「アニメ」という言葉を生み出し定着させ、日本のアニメの流れと世の中の価値観に影響と変化を齎らしたのかを改めて伝え、50年後の現在を生きる人々の心に「ヤマト」の凄さや面白さを遺す上映イベントになれば、と思っています。



これまでのファン&これからのファンの皆様、何卒よろしくお願い致します。

中2の時から50年来のヤマト大ファン 庵野秀明

『宇宙戦艦ヤマト』と遭遇した50年前、視界を覆う膜がバリバリと剥がれるような衝撃を受けました。「テレビまんが」は「アニメ」に生まれ変わり、子ども向けを離脱したのです。まるで錆びた戦艦大和の中から宇宙戦艦ヤマトが出現して旅だったように……。すぐさま制作スタジオを突き止め、作り手たちと会話し、原画や設定資料のナマを目撃したときが、第2の衝撃です。「すごい作品には、すごくなる理由がある」と深く感じいった高校2年生の日々。その興奮を人に語り伝え、さらに広める行動に転化しながら、ヤマトを通じて出逢った人びとの熱狂に共鳴しつつ、50年が一瞬で過ぎた感があります。ここからさらなる飛躍が起きることを願っています。

アニメ・特撮研究家 氷川竜介

これは時代の特異点である

日本アニメ史のパラダイムシフトとなった作品。日本のアニメーションをいまに至る姿に進化させた作品、それが『宇宙戦艦ヤマト』だ

この時、日本のアニメは確かに、確実に、「ヤマト」前と「ヤマト」後で変わったのだ

それは50年前『宇宙戦艦ヤマト』という作品が誕生した1974年。その年に生まれた人が50歳！そして50年といえば半世紀！なんてこった！である

その50年周年を、この作品で人生を良い意味で、豊かに狂わされた人たちと共に祝えるこの瞬間に感謝を込めて

「ヤマト、発進！」

『宇宙戦艦ヤマト2199』総監督 出渕裕

※コメント内容は原文のままとなります。改行や句読点もそのままでの掲載をお願いいたします。

★8mmフィルム版『宇宙戦艦ヤマト』とは★

劇場版(1977年8月5日公開)とは異なる編集と新規ナレーションにより再構成、TVシリーズ全26話を約12分×全3巻(総時間約36分)という長さにとまとめた8mmフィルム商品です。発売は1977~78年頃。当時はまだビデオテープレコーダー(β・VHS)の発売が始まったばかりで、持ち運びできる家庭向けビデオカメラはありません。一般的に日々の暮らしを動く映像で残したい時は8mmフィルムカメラで撮影、現像したフィルムを映写機でスクリーンに映写し楽しんでいました。その普及率は高くありませんが、映画などを短く編集したり数巻に分け収録した映像ソフトが幾つも発売されていました。今回上映される『宇宙戦艦ヤマト』は全3巻として発売。後に『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』は全2巻として発売されています。

<宇宙戦艦ヤマト 作品紹介>

西暦2199年、人類は滅亡の危機にあった。地球侵略を企てる異星人国家ガミラスの攻撃により、海は蒸発し、地表は放射能に汚染されていく。そんな中、イスカンダル星より放射能除去装置・コスモクリーナーの情報がもたらされる。人類はメッセージと共に送られてきた波動エンジンの設計図を基に、第2次世界大戦の戦艦「大和」を宇宙戦艦として再建造し、14万8000光年離れたイスカンダルを目指し旅立つ。人類滅亡の日まであと1年。ヤマトはコスモクリーナーを受け取り無事に地球へと帰り着けるのだろうか……。

第一作となるTVシリーズ『宇宙戦艦ヤマト』からはじまり、その後も数多くのTVシリーズ・劇場用映画・実写映画が製作され、今なお新作が製作されている『宇宙戦艦ヤマト』は多くの人に愛されているSFアニメの金字塔である。

『宇宙戦艦ヤマト』放送50周年記念上映会 概要

- タイトル：『宇宙戦艦ヤマト』放送50周年記念上映会 ※タイトル変更となりました
- 日時：2024年10月6日(日)19:30開演
- 会場：新宿ピカデリー(全国の映画館にライブビューイング)

●上映作品：

・『宇宙戦艦ヤマト』TVシリーズ 第1話「SOS地球!! 甦れ宇宙戦艦ヤマト」

※50年前と同日同時刻にアニバーサリーデー上映

・8mmフィルム版『宇宙戦艦ヤマト』 ※劇場初公開

第1部「さらば地球よ」

第2部「神よ、ガミラスのために泣け」

第3部「愛に生き 愛に死す」

構成：西崎義展

●料金：新宿ピカデリー3,000円、ライブビューイング劇場2,500円

●トークイベント司会：庵野秀明(監督・プロデューサー)

●トークイベントゲスト：出渕 裕(メカニックデザイナー・監督)、氷川竜介(アニメ・特撮研究家)

●入場者プレゼント：50周年ロゴダイカットステッカー

●ライブビューイング実施劇場：

札幌シネマフロンティア／MOVIX仙台／グランドシネマサンシャイン 池袋／MOVIX亀有／
MOVIX昭島／川崎チネチッタ／MOVIX橋本／横浜ブルク13／京成ローザ10／MOVIX柏の葉／
MOVIX川口／MOVIXさいたま／T・ジョイ エミテラス所沢／MOVIXつくば／MOVIX宇都宮／
MOVIX伊勢崎／MOVIX清水／ミッドランドスクエア シネマ／MOVIX三好／
大阪ステーションシティシネマ／なんばパークスシネマ／MOVIX堺／MOVIX京都／
kino cinema神戸国際／MOVIXあまがさき／MOVIX倉敷／広島バルト11／T・ジョイ博多／
熊本ピカデリー ほか

●チケット発売情報：

劇場オンライン：9月21日(土)24:00～(=9月22日(日)0:00)

劇場窓口：9月22日(日) 劇場オープン後～

※以降順次発売開始となります。詳細は劇場にお問い合わせ下さい

●主催：カラー／東北新社 ●配給：東北新社

『宇宙戦艦ヤマト』50周年特設ページ

▶公式サイト・SNS

●50周年特設ページ <http://tfc-chara.net/yamato50th>

●公式X <https://twitter.com/Yamato50th>



© 東北新社/著作総監修 西崎彰司

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 東北新社 IPマーケティング部 Tel:03-5414-0336 E-mail:charanet@tfc-i.com

【イベント当日ご取材に関するお問い合わせ先】

株式会社ムービー・アクト・プロジェクト E-mail:info@mapinc.jp

【庵野秀明氏に関するお問い合わせ先】

株式会社 カラー E-mail:ml-pr@khara.co.jp

協力：株式会社ボイジャー ヤマトクルー(HP):<https://yamatocrew.jp/crew>